



堺高校は2008年、堺市立の4校(堺市立商業高等学校・堺市立第二商業高等学校・堺市立工業高等学校・堺市立第二工業高等学校)を統合し開校



3号館・溶接1に12台整備
アーキ溶接機

令和5年度 オープンスクール<溶接体験>で初めて溶接する中学生

機械材料創造科

10月26日(土)に予定している本校の中学3年生対象オープンスクール体験講座では、<溶接体験>を開講します。アーキ溶接を体験します。アーキ溶接機は、使用されることの多い溶接機で、特徴は高温の強い光を発することです。安定した精度が見込めるこの技術を体験しましょう。

溶接

スポット溶接機
ホッチキスのように、ピンポイントで溶接する「圧接」のひとつ



2号館／溶接2

半自動溶接機
溶接棒の供給が自動化され、トーチの操作に集中できる溶接



2号館／溶接2に6台整備

Tig溶接機
右側はデジタル式
左側は旧式のサイリスタ式
溶接電源



2号館／溶接2

JIS 溶接技能者評価試験

試験会場
堺高校 2号館／溶接2

[SN-1F]

10月6日(日)に実施の、JIS溶接技能者資格試験に向けて3年生が頑張っています(2号館／溶接2にて)。

今年も**JIS溶接技能者評価試験(SN-1F)**合格をめざし、プロの溶接職人さんとともに練習に励んでいます。この機会、堺溶接協会の資格研修が本校を会場に行っていることから、協会のご厚意によって実現しています。未来の職人育成のため、地域産業界も高校生を応援してくださっています。

溶接資格は、種類が多く、必須というものから、管理職に必要な上級資格までさまざま。キャリアアップのため、溶接職に就いた後も、新たな資格を取得すべく、練習します。溶接によっては、労働安全衛生法などで定められた国家資格の取得「**アーク溶接作業**者」が必要となり、アーク溶接に携わるには、「アーク溶接等の業務に係る特別教育」の修了が義務づけられます。

ガス溶接に携わるには「**ガス溶接技能講習**」の修了(本校では卒業時に修了証が発行される(リポートvol.8参照))による国家資格「**ガス溶接技能者**」の取得が必要。

この他、ボイラーの溶接は、実務経験を積んだうえで、国家試験「ボイラー溶接士」を取得する必要があります。



SN-1F

半自動溶接(炭素鋼)	SN(裏当て無)	1:薄板(管) 3.2mm	F (下向) 基本級	専門級
	SA(裏当て有)	2:中板(管) 9.0mm		V(立向)
	SC(初層Tig)	3:厚板(管) 25.0mm		H(横向)
	SS(セルフシールド)			O(上向)
				P(固定管)

手溶接(炭素鋼)
半自動溶接(炭素鋼)
ステンレス鋼溶接
のうち、今回は
半自動溶接(炭素鋼) **SN-1F**が
堺高校を試験会場に行われます。
本校は、その他専門級の溶接試験での
試験会場でもあり多様な溶接機が揃っています。



3号館／溶接1

△ まさに溶接すること、
その技術を学ぶ授業

1年生の授業【工業基礎:溶接】

溶接技術を使用して
作品を制作することを目的とした授業 ▽



2号館／溶接2